

アスベスト除去等工事安全対策チェックリスト(1/2)

H21.2 公共施設版

工事名			
建物名称		建物所在地	
施設管理者		工事発注者	
元請会社			

【工事前の措置】

チェック欄 (日付・チェック者名を記入)			内容
施設管理者	工事発注者	元請業者	
月/日	月/日		工事は施設利用者(学校であれば児童・生徒等)のいない余裕をもった時期・期間に実施するよう計画していますか。ただし、休止不可能な施設については、事故が発生した場合でもアスベストのばく露が起きない二重・三重の対応を計画に盛り込んでいますか。
/	/	/	事前に、施設管理者、工事発注者、元請業者等(以下「工事関係者」という)は、現場に関する情報を収集・整理し、想定されるリスクを洗い出し、相互に協議し、解決策又は事前の対応策を定めていますか。
/	/	/	緊急時における工事関係者及びアスベスト工事を所管する機関()及び消防署、警察署の連絡先並びに措置内容を定めていますか。 県環境センター、労働基準監督署等
/	/	/	工事期間、工事内容、安全対策等必要な事項について、工事関係者間で役割分担を定め、周辺住民等関係者全員に周知を図りましたか。 例 ・工事関係者 施設管理部局(学校の例:学校、教育委員会)、発注担当部局、元請業者の担当者が所属する部署職員 ・周辺住民等関係者 施設利用関係者(学校の例:学校職員、児童・生徒、保護者等)及び周辺住民
/	/	/	工事関係者毎に工事責任者を置き、責任者は、その決められた役割を履行し、本チェックリストに記録を残すこととしていますか。

【前処理時の確認事項】

チェック欄 (日付・チェック者名を記入)			内容
施設管理者	工事発注者	元請業者	
/	/	/	特に次の点を重点的に説明を行いましたか。(受けましたか。) プラスチックシート(養生シート)の張り方 接着状況、扉、窓、換気口、空気吹き出し口等の目張り、セキュリティルームとの接続状況、悪天候時の対応
			負圧除塵機 適正に稼働するか、計画どおりの配置か
			工事中の留意事項に関する確認方法
			届出時の指導事項
/	/	/	石綿障害予防規則に基づき立入禁止区域を設定し、明示していますか。(説明を受けましたか。)
/	/	/	施設の閉鎖等、立入禁止区域に人が出入りできない措置を採っていますか。
/	/	/	周辺住民からも見やすい箇所に作業実施期間、排出等作業の方法等を示した掲示板を設置していますか。(説明を受けましたか。)

アスベスト除去作業に入る前の、準備が完了した段階で、施工業者から、作業の手順、準備が確実に実施されたことの説明を受けるとともに、次頁の「除去作業中の留意事項」について確認を行っておくことが重要です。

アスベスト除去等工事安全対策チェックリスト(2/2)

H21.2 公共施設版

【除去等作業中の留意事項】< 回目 >

チェック欄 (日付・チェック者名を記入)			内容				
施設管理者	工事発注者	元請業者					
/	/	/	人が出入りできない措置について、継続されていることを確認しましたか。				
/	/	/	作業基準(下記)を遵守して工事を実施するとともに、その履行状況を工事関係者に説明しましたか。(受けましたか。)				
/	/	/	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">特定建築材料を掻き落とし、切断、破砕の方法により除去する場合</td> <td style="width:50%;">特定建築材料のうち、断熱材、保温材、耐火被覆材を掻き落とし、切断、破砕以外の方法で除去する場合</td> </tr> <tr> <td> 作業場の隔離、前室の設置 ・養生シートのつなぎ面からアスベストがもれることのないよう養生テープの状態を確認しましょう </td> <td> 特定建築材料の除去を行う部分の周辺の養生 ・床養生の他、開口部をシート等により塞ぎましょう </td> </tr> </table>	特定建築材料を掻き落とし、切断、破砕の方法により除去する場合	特定建築材料のうち、断熱材、保温材、耐火被覆材を掻き落とし、切断、破砕以外の方法で除去する場合	作業場の隔離、前室の設置 ・養生シートのつなぎ面からアスベストがもれることのないよう養生テープの状態を確認しましょう	特定建築材料の除去を行う部分の周辺の養生 ・床養生の他、開口部をシート等により塞ぎましょう
特定建築材料を掻き落とし、切断、破砕の方法により除去する場合	特定建築材料のうち、断熱材、保温材、耐火被覆材を掻き落とし、切断、破砕以外の方法で除去する場合						
作業場の隔離、前室の設置 ・養生シートのつなぎ面からアスベストがもれることのないよう養生テープの状態を確認しましょう	特定建築材料の除去を行う部分の周辺の養生 ・床養生の他、開口部をシート等により塞ぎましょう						
/	/	/	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"> 作業場を負圧に保ち、HEPAフィルタを付けた集じん・排気装置の使用 ・負圧除塵装置のフィルタが目詰まりすることのないよう差圧計や警報の設置等により確認しましょう </td> <td style="width:50%; text-align: center;">-</td> </tr> </table>	作業場を負圧に保ち、HEPAフィルタを付けた集じん・排気装置の使用 ・負圧除塵装置のフィルタが目詰まりすることのないよう差圧計や警報の設置等により確認しましょう	-		
作業場を負圧に保ち、HEPAフィルタを付けた集じん・排気装置の使用 ・負圧除塵装置のフィルタが目詰まりすることのないよう差圧計や警報の設置等により確認しましょう	-						
/	/	/	除去する特定建築材料の薬液等による湿潤化				
/	/	/	除去後、隔離(又は養生)を解く前に除去部分への薬液等の散布及び作業場内の特定粉じんの処理				
/	/	/	石綿濃度を測定(立入禁止区域周辺)しその評価を説明しましたか。(受けましたか)				

工事期間が長期の場合、複数回の確認が必要です。

環境センターでは、工事の各段階で、大気汚染防止法に基づく立入検査を実施します。この検査と併せて、施設管理者及び工事発注者は、立ち会いを実施し、元請業者から説明を受け、チェックシートを記載することも有効です。

【除去作業終了時の確認事項】

チェック欄 (日付・チェック者名を記入)			内容
施設管理者	工事発注者	元請業者	
/	/	/	残存アスベストがないことを確認しましたか。
/	/	/	廃棄物を適正に搬出しましたか。
/	/	/	作業場内の石綿濃度が問題ないレベルであることを確認しましたか。
/	/	/	アスベスト除去工事が適切に完了したことを確認し、立入禁止措置を解除しましたか。
/	/	/	周辺住民等関係者に対し、工事の完了を報告しましたか。

【参考】

- 具体的な作業等に関する詳細なチェックリストとしては「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2007」付録4.石綿含有建材除去作業チェックリストを参照願います。(社団法人 日本作業環境測定協会)
http://www.env.go.jp/air/asbestos/litter_ctrl/manual_td/index.html
- 廃棄物の処理については「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(H19年3月)」(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部)を参照願います。<http://www.env.go.jp/recycle/misc/asbestos-dw/>